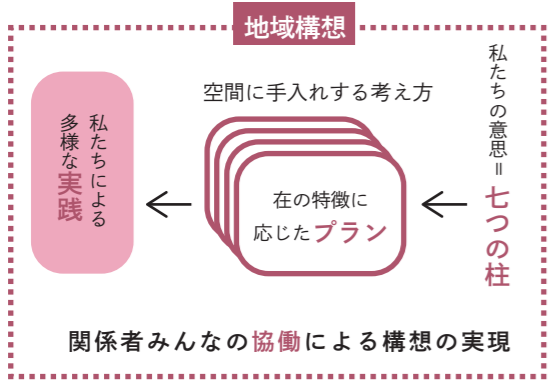


災害復興における地域構想

今、私たちは、被災した状態から、元の姿を取り戻す復旧や、より望ましい形への復興を実現しようとしています。

そのために、小高をどう復旧・復興したいのか、私たちの意思を共有し、在の特徴に応じたプランのもとで空間に手を入れ、一つ一つやるべきことを実践していく必要があります。

そうした道筋の実現が、地域構想の目指すところ です。つまり、地域構想とは、以下の四つからできています。



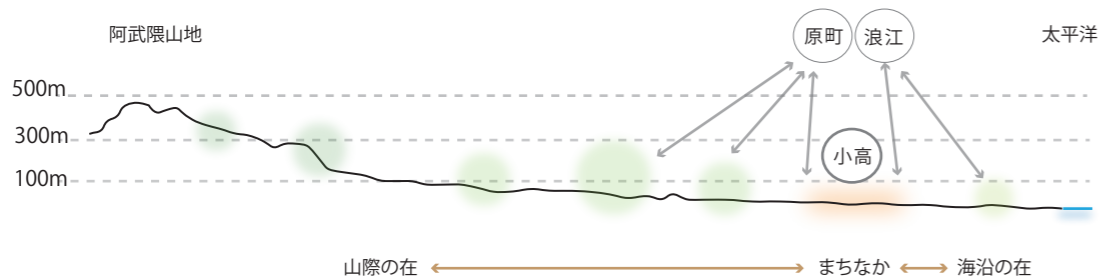
一・七つの柱

小高の復旧・復興、これからのまちづくりにあたり、根幹となる考え方が七つの柱です。これまでの話し合いをふまえて整理しました。

- ・多様な在から成る
- ・これまでの蓄積を活かす
- ・まちなかが再生拠点小高区の主柱となる
- ・新たな生業に挑戦する
- ・活動が芽生える
- ・人と小高の、いろいろな繋がりをもち
- ・災害・放射線リスクに向き合う

二・プラン

五年近く、人が住めなかつた小高に再度住むため、空間に手を入れる考え方を示したものがプランです。地形や生業などの特徴が基本となるので、海沿の在、山際の在、まちなかでは全く違うプランになります。



在ごとに住民が主体となってプランを作るのが最も良い方法です。うちの在でも作ろう！という方はご連絡ください。

今回は、復興の拠点となるまちなかプランを作成しています。

三・実践

自発的实践を応援しましょう。南相馬市生活再建検討委員会が、申請された活動への支援・助成を話し合っています。区役所にお問い合わせください。

▼小高区役所地域振興課
0244-44-6716

四・協働の仕組み

これまで小高では、多様な主体の協働によるまちづくりは盛んではありませんでした。必要なかったのかもしれませんが、しかし、二度とこのような被災をしないため、穏やかな小高の生活を再構成するため、協働の仕組みが必要です。

▼まちなかプランを実現する協働の仕組み p.24-25